

会 長 挨拶

はじめに、2024年1月に能登半島地震で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。復興に向けて尽力されている皆様には健康に留意されご活躍されることを願い、また被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、2024年度より会長を務めさせていただきます宮倉義輝でございます。日頃皆様には兵庫県バスケットボール協会の事業にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。1976年度から当協会の役員としてお世話になり、競技委員長→専務理事→副会長を経て会長を務めることになりました。諸先輩方が築きあげた当協会を守りながらよりよい発展に向けて努力をしていく次第でございます。その一つとして日本協会からの定義「みる・する・そだてる」の指導を受け、「みる」は、バスケット競技をしている人、していない人も競技を楽しくみる、今年は神戸ストークスB2リーグ戦で目標入場者9万人を突破しました、トップリーグの素晴らしいゲームを観戦してくださいました。「する」は、競技を競うことを望むプレイヤー、楽しくゲームをするプレイヤー、低年齢のゲームや高齢者のゲームなど競技人口を増やす。「育てる」はプレイヤーの技術を指導するにあたってコーチや審判の技能を高めることによりプレイヤーの技術を高めること。当協会のキャッチフレーズ「兵庫から世界へ」を挙げている。こういったことをひとつずつ丁寧に行っていきたいと思っています。



ところで、今年はパリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。出場権を賭けて男子日本代表が48年ぶりに自力で出場を決め、女子日本代表は3大会連続出場権を獲得しました。ワールドカップの男子日本代表とパリオリンピック最終予選の女子日本代表の激闘は記憶に新しいのではないかと、今後ますますバスケットボール熱が高まっていくのではないかと思います。

最後になりましたが、理事、役員とともにバスケットボールに携わるすべての方々と想いを共有しながら当協会の業務に取り組んでいきたいと思っています。ひきつづき皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年5月

一般財団法人 兵庫県バスケットボール協会

会 長 宮 倉 義 輝